

新しい年を迎えました。2019年度Ⅱ期をしめくくるとともに、次年度に向けた準備もはじめました。今回は、1月、2月に開催した行事を中心にお伝えします。

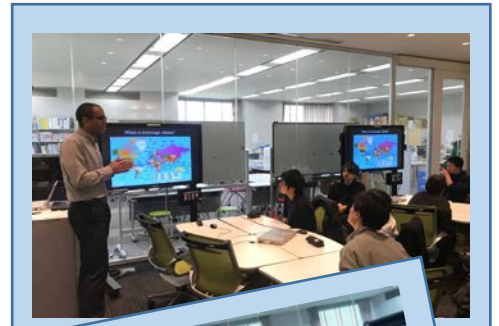
第2回 English Workshop

2020年1月10日(金)に「第2回グローバルイングリッシュ・ワークショップ」を開催しました。今回は、第1回の「地球一周文化の旅」の中からアメリカ合衆国、チェコ共和国、アラブ首長国連邦の3カ国に焦点を当て、「歴史、文化、自然」をテーマに様々な英語によるコミュニケーション活動を活発に行いました。

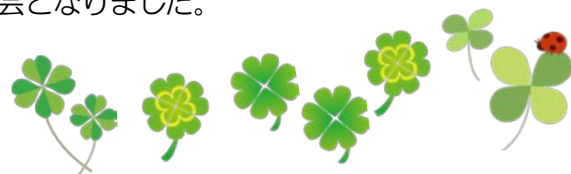
数々の画像をみて、“Where do you think this place is?” “This building is famous for...”などの質問やヒントをもとに、グループで話し合いながら地名を当てていきます。

アラスカの豊かな自然、プラハの歴史を偲ばせる町並み、ドバイの超高層ビルや巨大ショッピングセンターなど中東屈指の世界都市としての側面をインフォメーション・ギャップ、クイズなどを織り交ぜながら学びました。ワークショップの最後には、学んだ情報を駆使して、各自訪問したい地域について、“Why do you want to visit there?”などの質問に答えながら活発に英語で意見を述べ、発表しました。

今回は、グローバルビジネス専攻の4年生がアシスタントとなり、2年次から同専攻で学ぶ1年生が多数参加しました。参加者それぞれが生の英語に触れ、英語での意見交換を経験するよい機会となりました。



第1期生 卒業研究発表会



2020年1月14日(火)3・4時限に現代ビジネス学科4年生の卒業研究発表会を開催し、4年生の中から12名が4年次で進めてきた研究内容を発表しました。「日本のインテリア業界とこれからの社会」「アニメによる聖地巡礼ビジネス」「淡路島の観光業の将来について」「日本のキャッシュレスの現状」「Global Retail Strategy-Hints from Walmart」「兵庫県における土地価格変動要因について」など、さまざまなテーマの発表と活発な質疑応答が行われました。3時限目は、3年生も聴講し、次は自分たちの番だと意識を高めていました。



兵庫大学大学院現代ビジネス研究科を開設します



2020年1月23日(木)に、加古川プラザホテルにて、兵庫大学大学院看護学研究科・現代ビジネス研究科の開設式を開催しました。現代ビジネス研究科は、現代ビジネス学部での教育・研究をさらに発展させ、地域経済に関する高度な理論と、情報技術やビジネス手法を活用した課題解決のための創造的思考法を身につけ、地域経済の活性化と発展に寄与できる高度な専門職業人の養成を目的としています。開設式では、松本茂樹研究科長の説明に続き、NPO法人ディープピープル理事長の牧文彦氏に「SDGsで未来の価値を創造する」と題してご講演いただきました。現代ビジネス研究科は2020年4月にスタートします。

「加古川『知』を結ぶプロジェクト報告会」で発表しました

2020年2月8日(土)に、「加古川『知』を結ぶプロジェクト成果報告会」が開催されました。これは、加古川市と甲南大学が、神戸新聞社の協力のもと、行政×大学×地元メディアによる地域の課題解決を図る活動について成果報告を行うものです。その中で、兵庫大学のPBL活動を発表する機会をいただき、現代ビジネス学科2年生2名が、地域の活動報告として「加古川てらこや2019プロジェクト」について発表しました。甲南大学学生の皆さんを前に、緊張いっぱいの報告でしたが、良い経験となりました。



入学前教育「フォローアップ・プログラム」



2020年2月12日(水)に、令和2年度入学予定者を対象にした「フォローアップ・プログラム」を実施しました。座学やグループワークを盛り込んだプログラム構成で、大勢の生徒の皆さんにご参加いただきました。

前半は、現代ビジネス学部長の松本茂樹教授による「ノートの取り方」および「地域活性化に向けた地域ビジネスプランづくり」をテーマにした講座を行いました。後半は、「人の話を一生懸命に聴く」というテーマで、ペアワークで自己紹介をし、グループワークで他己紹介をしました。グループ内で打ち解けた後、「町自慢と共通の地域資源の発見」をテーマに、それぞれが自身の住んでいるまちの特徴や誇れることなどを挙げ、皆でまとめあげました。最後にグループごとに発表を行い、参加者全員で成果を共有しました。



入学前のこの時期に本学キャンパスに集まることで、仲間づくりの一步を踏み出す良い機会になったものと思います。入学後、専門的な学びを深め、さらに活発なグループワークへと発展できるよう願っています。